

気候変動に対処するための 分野横断的研究を目指して : 研究分野間の対話の試み

環境問題の解決のためには分野横断型研究が必要であることはコンセンサスが得られているが、日本においてそうした研究はあまりみられない。本シンポジウムは気候変動という共通のテーマについて、根底にある思想や方法論を明示しながら、国際政治学・社会学・経済学・法学の各分野間で対話を行うことで、それぞれの方法論の長所と短所に関する理解を深め、どのような分野横断型研究が可能なのかを展望する。

実施日：2012年9月15日(土) 13:30～17:30

場 所：東北大学川内北キャンパスマルチメディア研究教育棟
マルチメディアホール(M206教室)

(地図：www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/about/10/about1003/index.html)

入場無料 事前登録不要

第1部 講演 (13:45～16:00)

司 会：馬奈木 俊介氏 (東北大学)

発表者：**経済学** 赤尾 健一氏 (早稲田大学)

法 学 高村 ゆかり氏 (名古屋大学)

社会学 青柳 みどり氏 (国立環境研究所)

国際政治学 石井 敦氏 (東北大学)

第2部 パネルディスカッション (16:10～17:20)

コーディネータ：明日香 壽川氏 (東北大学)

パネリスト：上記発表者 + 江守 正多氏 (国立環境研究所)

主催：環境経済・政策学会

共催：東北大学大学院環境科学研究科

問い合わせ：発表内容については、石井敦 (東北大学) 022-795-6076 ; ishii@cneas.tohoku.ac.jp

場所などについては、環境経済・政策学会2012年大会実行委員会; seeps_tohoku@hotmail.co.jp